

研究名：人工股関節置換術インプラントが術後骨萎縮に与える影響の研究

1. 研究の目的

当院で頻繁に行われている人工股関節置換術(THA)は10~20年の安定した長期成績が報告されています。しかし、将来、稀に起こりうる大腿骨インプラント周囲の骨萎縮の問題が報告されていますが、どのようにして大腿骨骨萎縮が起こるのかについては不明な部分が多いです。

この研究の目的は、大腿骨側インプラントの種類や挿入角度等と、インプラント周囲の骨密度の関連性について検討を行うことである。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて2019年~2022年までに人工股関節置換術を受けられた方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後~2024年3月
- ③ 研究方法：人工股関節手術術後のCTを使用して、インプラントの種類やその挿入角度と術後インプラント周囲骨密度の関連性について調査を行います。

3. 研究に用いる情報の種類

手術データ、検査データ、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報とは調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

白庭病院 整形外科 関節センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

白庭病院 整形外科 岩切健太郎

住所：〒630-0136 奈良県生駒市白庭台6-10-1

電話：0743-70-0022

○研究責任者：

白庭病院 整形外科 岩切健太郎